

令和5年

火災・救急・救助統計



敦賀美方消防組合

目 次

火 災 統 計

令和5年中における火災の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ~ 2
第1表 令和5年火災の概況と前年比較・・・・・・・・	3
第2表 過去10年間の主な出火原因・・・・・・・・	4

救 急 統 計

令和5年中における救急活動の概要・・・・・・・・	5 ~ 6
第1表 最近5か年救急概況の推移・・・・・・・・	7
第2表 最近5か年の署別救急状況・・・・・・・・	8

救 助 統 計

令和5年中における救助活動の概要・・・・・・・・	9
第1表 地域別事故種別救助出場の状況・・・・・・・・	10
第2表 高速自動車道救助出場状況・・・・・・・・	11
第3表 事故種別救助活動状況の推移・・・・・・・・	11

令和5年中における火災の概要

令和5年中に敦賀美方消防組合管内では20件の火災が発生し、建物焼損面積は、7,201.91㎡、全損害額は3億9,061万5千円であり、死者1名、負傷者7名が発生している。

1 出火件数

(1) 出火件数

出火件数は20件で、前年と比較して5件減少している。構成市町別では、敦賀市16件、美浜町2件、若狭町(三方地域)2件となっており、前年と比較して敦賀市は1件増加、美浜町は3件、若狭町(三方地域)は3件減少している。

(2) 火災種別

火災種別は、建物火災が12件(60%)、車両火災が2件(10%)、その他の火災が6件(30%)となっており、前年と比較して、建物火災は2件減少、車両火災は同件数、船舶火災は1件減少、その他の火災については2件減少している。

(3) 四季別

四季別にみると次のとおりである。

春季(3月～5月) 6件(建物4、車両1、その他1)

夏季(6月～8月) 8件(建物5、車両1、その他2)

秋季(9月～11月) 4件(建物2、その他2)

冬季(12月、1月、2月) 2件(建物1、その他1)

(4) 出火率

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は2.5で、前年と比較して0.6ポイント減少している。

2 損害額

火災による損害額は3億9,061万5千円で、前年に比べ3億6,858万3千円の増加となった。

火災1件当たりの損害額は1,953万1千円(前年88万1千円)となっている。

火災種別では、建物火災が3億5,171万8千円(同2,177万2千円)で、次いで車両火災が3,111万5千円(同1,444千円)、その他火災が3,78万2千円(同6万6千円)となっている。

3 焼損面積と焼損棟数

建物火災の焼損面積は、焼損床面積が7,201.91㎡(前年3,104.54㎡)、焼損表面積は46.67㎡(同30.12㎡)で、1件当たり焼損床面

積 600.16 m² (同 22.18 m²)、焼損表面積 3.89 m² (同 2.15 m²) が焼損したことになる。

また、焼損棟数は 22 棟 (同 20 棟) で、全焼 7 棟 (同 3 棟)、半焼 3 棟 (同 2 棟)、部分焼 7 棟 (同 5 棟)、ぼや 5 棟 (同 10 棟) となっている。

4 出火原因

原因別出火件数は、「たばこ」が 3 件で第 1 位、「こんろ」、「配線器具」、「たき火」、「放火」が 2 件で第 2 位となっている。

5 死者、負傷者

死者は 1 人 (前年 1 人)、負傷者は 7 人 (同 2 人) となっている。

6 火災覚知状況

火災覚知状況は、火災報知専用電話 (119 番) によるものが 13 件 (65%) で、そのうち携帯電話によるものが 11 件となっている。その他は、加入電話 3 件、警察電話 1 件、事後聞知 2 件、その他 (原電電話) 1 件となっている。

以上、令和 5 年中における管内の火災概要について述べたが、前年と比べ火災件数は減少しているものの、焼損面積及び損害額が大幅に増加している。この背景にあるのは、大規模事業所において火災が相次いだためであり、管内の大規模事業所に対し、火災予防の徹底等について注意喚起したところである。

火災の出火原因を見てみると、依然として「たばこ」、「こんろ」及び「たき火」など、人為的な要素が関係する火災が多い。また、建物火災により死者 1 名及び負傷者 7 名が発生している。このことから、火気取扱い時の注意喚起及び設備等の適切な維持管理に関する広報を実施し、火災減少に向け住民の防火意識の高揚と、より一層の火災予防対策を推進していく必要がある。

第1表

令和5年 火災の概況と前年比較

(△は減)

区 分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	前年比較 (C)	増減率% (C/B)×100
出 火 件 数	件	20	25	△ 5	△ 20.0
建 物	件	12	14	△ 2	△ 14.3
林 野	件	0	0	0	0.0
車 両	件	2	2	0	0.0
船 舶	件	0	1	△ 1	△100.0
そ の 他	件	6	8	△ 2	△ 25.0
焼 損 棟 数	棟	22	20	2	10.0
全 焼	棟	7	3	4	133.3
半 焼	棟	3	2	1	50.0
部 分 焼	棟	7	5	2	40.0
ぼ や	棟	5	10	△ 5	△ 50.0
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	7,201.91	310.54	6,891.37	2,219.2
建 物 焼 損 表 面 積	m ²	46.67	30.12	16.55	54.9
林 野 焼 損 面 積	a	0	0	0	0.0
死 者	人	1	1	0	0.0
負 傷 者	人	7	2	5	250.0
り 災 世 帯 数	世帯	12	9	3	33.3
全 損	世帯	1	0	1	0.0
半 損	世帯	5	1	4	400.0
小 損	世帯	6	8	△ 2	△ 25.0
り 災 人 員	人	36	22	14	63.6
損 害 額	千円	390,615	22,032	368,583	1,672.9
建 物	千円	351,718	21,772	329,946	1,515.5
林 野	千円	0	0	0	0.0
車 両	千円	3,115	144	2,971	2063.2
船 舶	千円	0	50	△ 50	△100.0
そ の 他	千円	35,782	66	35,716	54,115.2
1 件 平 均 損 害 額	千円	19,531	881	18,650	2,116.9
1 日 平 均 損 害 額	千円	1,070	60	1,010	1683.3
建 物 火 災 の 1 件 平 均 損 害 額	千円	29,310	1,555	27,755	1,784.9
建 物 火 災 の 1 日 平 均 損 害 額	千円	964	60	904	1506.7
建 物 火 災 の 1 件 平 均 焼 損 床 面 積	m ²	600.16	22.18	577.98	2,605.9
建 物 火 災 の 1 日 平 均 焼 損 床 面 積	m ²	19.73	0.85	18.88	2,221.2
建 物 火 災 の 1 件 平 均 焼 損 表 面 積	m ²	3.89	2.15	1.74	80.9
建 物 火 災 の 1 日 平 均 焼 損 表 面 積	m ²	0.128	0.083	0.045	54.2
住 民 1 人 当 たり 損 害 額	円	4,941	275	4,666	1,696.7
出 火 率		2.5	3.1	△ 0.6	△ 19.4

人口(79,050人 令和5年4月1日現在)

第2表

過去10年間の主な出火原因

年別	第1位	(件)	第2位	(件)	第3位	(件)
平成26年	たばこ	4	こんろ 交通事故	3 3		
平成27年	ストーブ 放火 たばこ たき火	2 2 2 2				
平成28年	不明 たばこ	4 4	電気配線 たき火	3 3		
平成29年	たばこ	5	炭火 排気管	2 2		
平成30年	たばこ たき火	4 4	排気管	3	不明	2
令和元年	たばこ	5	電気機器 電灯・電話等の配線	2 2		
令和2年	こんろ	4	たばこ 裸火	3 3	電灯・電話等の配線 電気機器 ブレーキライニング バーナー 不明	2 2 2 2 2
令和3年	排気管 交通機関内配線	2 2				
令和4年	電灯・電話等の配線 たばこ	3 3	たき火 こんろ 配線器具	2 2 2		
令和5年	たばこ	3	こんろ 配線器具 たき火 放火	2 2 2 2		

令和5年中における救急活動の概要

1 救急件数及び搬送人員の状況

令和5年中の救急出場件数は、3,725件(対前年比101件、約2.8%増)、搬送人員は3,338人(対前年比69人、約2.1%増)であり、搬送人員における年齢別では、高齢者が2,158人で全体の約64.6%を占めている。また、人口1万人当たりの救急出場件数は約471件、搬送人員は約422人で、住民約24人に1人が救急車によって搬送されたことになる。

2 事故種別毎の救急出場件数状況

救急出場件数を事故種別毎にみると、第1位が急病によるものが最も多く2,462件(全体の約66.0%)、次いで一般負傷が597件(同約16.0%)、その他(転院搬送等)が326件(同約8.7%)となっている。なお、転院搬送290件のうち、107件が管外転院搬送(102件が県内医療機関、5件が県外医療機関)となっている。

3 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員3,338人のうち、傷病の程度が入院を必要としない軽症が1,729人(全体の約51.7%)、入院を必要とする中等症が1,186人(同約35.5%)、重症が367人(同約10.9%)、死亡55人(同約1.6%)となっている。

4 急病による搬送人員の状況

急病による搬送人員2,213人のうち、その他を除く疾病分類別では、消化器系の200人(全体の約9.0%)が最も多く、以下呼吸器系が182人(同約8.2%)、脳疾患158人(同約7.1%)、心疾患148人(同約6.6%)となっている。

5 救急隊員の行った応急処置の状況

搬送人員3,338人のうち、3,337人に応急処置を実施しており、そのうち特定行為は、除細動が2件、気管挿管が7件、静脈路確保が50件、薬剤投与が23件、ブドウ糖投与が7件実施となった。

6 高速自動車国道における救急出場の状況

高速自動車国道における救急出場件数は28件、搬送人員は22人で、件数については前年から7件増、搬送人員は2人減となっており、事故種別の内訳としては、交通事故13件、急病10件、一般負傷3件、労働災害事故1件、その他1件である。

7 ドクターヘリ要請状況

令和3年5月24日から運航開始となった福井県ドクターヘリは、早期医療介入により、高度な医療処置の迅速な実施が実現し、福井県の医療体制の強化が図られた。当組合の要請件数は、34件となっており、その内、ドクターヘリにより17件搬送されている。また、平成30年から運航開始されている、京滋ドクターヘリについては、嶺南地域の救急医療をカバーするため、継続運航しているところであり、令和5年については、2件搬送されている。

以上が、令和5年中の敦賀美方消防組合管内における救急活動の概要である。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことに伴う人流の回復、及び夏の猛暑により、救急件数の増加に繋がったのではないかと思慮する。

傷病程度別に見ると、軽症傷病者の割合が、全体の約51.7%と依然高止まりしている現状から、救急車の適正利用について、より効果的な情報の発信をしていかなければならない。

救急救命士法の施行から30年以上経過し、救急業務の質の向上のため、救急救命処置が拡大されてきた。救急現場という病院内と異なった環境で行われる救急救命処置は、安全かつ迅速性が求められ、今日においては、経験豊富な救急救命士が指導的立場に立ち、住民からの信頼の確保に繋げるために、救急救命士は、日々努力を重ねているところである。今後も、「安全で安心なまちづくり」のために、あらゆる事態への対応に備え関係機関との連携体制の充実強化を図っていく。

第1表 最近5か年救急概況の推移

区 分		年 別				
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救急 出場	件 数	3,651	3,051	3,229	3,624	3,725
	対前年増減比	△0.6	△16.4	5.8	12.2	2.8
搬送 人員	人 員	3,352	2,811	2,975	3,269	3,338
	対前年増減比	△2.2	△16.1	5.8	9.9	2.1
一日 平均	出場件数	10.0	8.3	8.8	9.9	10.2
	搬送人員	9.2	7.7	8.2	9.0	9.1
管 内 人 口		82,617	81,928	81,103	80,052	79,052
人口1万人当たりの 出場件数		441.9	372.4	398.1	452.7	471.2
事 故 種 別 出 場 件 数	火 災	12	18	14	21	17
	自然災害	1			1	1
	水難事故	18	8	15	8	8
	交通事故	242	193	194	238	203
	労働災害	36	38	37	43	47
	運動競技	23	13	26	23	28
	一般負傷	572	484	525	586	597
	加 害	12	5	7	9	5
	自損行為	34	39	36	42	31
	急 病	2,331	1,973	2,064	2,343	2,462
事 故 種 別 搬 送 人 員	その 他	370	280	311	310	326
	火 災		4		2	5
	自然災害	1			1	1
	水難事故	7	1	7	3	6
	交通事故	244	192	190	214	185
	労働災害	38	38	36	40	44
	運動競技	23	13	25	22	28
	一般負傷	535	448	485	542	540
	加 害	13	5	5	8	5
	自損行為	22	21	26	32	21
急 病	急 病	2,143	1,828	1,916	2,129	2,213
	その 他	326	261	285	276	290

第2表 署・事故種別別救急状況

所属区分	敦賀消防署				美浜消防署		三方消防署		合 計	
	本 署		気比分署		出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
件数 人員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員						
火 災	13	2	3	2	1	1			17	5
自然災害	1	1							1	1
水難事故	1		1	1	4	4	2	1	8	6
交通事故	67	62	96	84	25	22	15	17	203	185
労働災害	24	22	14	13	5	5	4	4	47	44
運動競技	13	13	8	7	3	3	4	5	28	28
一般負傷	239	214	202	182	93	85	63	59	597	540
加 害	2	2	2	2	1	1			5	5
自損行為	16	12	10	7	4	2	1		31	21
急 病	1,043	919	849	782	353	311	217	201	2,462	2,213
その 他	206	191	91	74	13	10	16	15	326	290
合 計	1,625	1,438	1,276	1,154	502	444	322	302	3,725	3,338

令和5年中における救助活動の概要

1 救助出場件数及び救助人員の状況

種別 年別	救助出場件数	活動件数	救助人員
令和5年	31件	16件	19人
令和4年	45件	22件	24人
前年比	14件減	6件減	5人減

2 事故種別出場件数の状況

事故種別 年別	火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械等に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂 事故	その他の 事故	合計
令和5年	2件	18件	3件	0件	1件	2件	0件	0件	5件	31件
令和4年	0件	30件	7件	0件	0件	2件	0件	0件	6件	45件
前年比	2件増	12件減	4件減	増減なし	1件増	増減なし	増減なし	増減なし	1件減	14件減

3 構成市町別及び管轄外出場件数の状況

出場件数を構成市町別で見ると、敦賀市22件、美浜町3件、若狭町6件であり、敦賀美方消防組合管轄外に出場はなし。

第1表 地域別事故種別救助出場の状況

種別 地域別		火	交	水	自	風	機	よ	酸	ガ	破	事	合
		災	通	難	事	水	械	建	欠	ス	裂	其	計
		火	交	水	自	風	機	よ	酸	ガ	破	事	合
		災	通	難	事	水	械	建	欠	ス	裂	事	計
敦賀市	市街地	1	3				1	1				1	7
	栗野							1					1
	中郷		2										2
	東郷		1										1
	愛発		4									1	5
	東浦		3										3
	西浦			1								2	3
	小計	1	13	1			1	2				4	22
美浜町	耳地区		1										1
	西郷地区			1									1
	山東地区		2										2
	小計		3	1									4
若狭町(三方地域)	三方地区	1		1									2
	西田地区												
	三十三地区		2									1	3
	小計	1	2	1								1	5
管外	南越消防管内												
	若狭消防管内												
	湖北地域管内												
	高島消防管内												
	その他												
	小計												
合計		2	18	3			1	2				5	31

第2表 高速自動車道救助出場状況

番号	発生月日	覚知時刻	事故発生場所	活動有無	事故種別	救助人員	出場車両	出場人員
1	1/4	20時57分	敦賀市刀根 北陸自動車道下り37KP付近	無	交通	0	6	18
2	2/2	12時11分	敦賀市樫曲 北陸自動車道下り49.4KP 樫曲第3トンネル内	有	交通	2	5	12

第3表 事故種別救助活動状況の推移

年別	種別 件数	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風水害等	機械による事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
	活動件数		14	7							3	24
	救助人員		15	16							3	34
令和2年	出場件数	2	16	6				1			4	29
	活動件数	2	7	4				1			3	17
	救助人員	3	8	3				1			2	17
令和3年	出場件数	1	10	9				1			5	26
	活動件数	1	8	7				1			2	19
	救助人員	8	8	6				1			3	26
令和4年	出場件数		30	7				2			6	45
	活動件数		13	5				2			2	22
	救助人員		16	4				2			2	24
令和5年	出場件数	2	18	3			1	2			5	31
	活動件数	2	7	2			1	1			3	16
	救助人員	1	9	2			1	1			5	19

令和5年度福井県防火ポスター審査会

最優秀賞

敦賀市立中郷小学校4年
白崎 麗生

